



理振協会会報

編集：(公社)日本理科教育振興協会 広報委員会
制作：株式会社 大洋堂



公益社団法人 日本理科教育振興協会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28
TEL: 03-3294-0715 FAX: 03-3294-0716
URL: <http://www.japse.or.jp>

CONTENTS

■第43回定時総会のご報告

- 会長挨拶 (p2) ●第43回定時総会 議事録 (p3)
- 平成26年度 事業計画 (p4)
- 来賓挨拶 (p6)
- 講演 「宇宙、人、夢をつなぐ」
宇宙飛行士 山崎 直子先生 (p10)
- 情報交換会 (p11) ●永年勤続表彰 (p11)

■祝 全国理科学研究大会 (p12)

- 日本理科教育学会会長挨拶 (p13)
- 日本理化学協会会長挨拶 (p13)
- 全国中学校理科教育研究会会長挨拶 (p14)
- 全国小学校理科研究協議会会長挨拶 (p14)

■平成26年度 理振予算動向 (p15)

■平成25年度 東日本大震災 理科実験支援事業 報告会 (p16)

- ◆安全安心ドキュメント 新版完成 (p17)
- ◆科学の甲子園報告 (p18)
- ◆理振法制定 60周年記念式典報告 (p18)
- ◆平成26年度 理科観察実
験授業力向上セミナー開
催！ (p19)
- ◆今後の活動予定 (p19)



第43回 定時総会

平成26年度 第43回 定時総会
公益社団法人 日本理科教育振興協会



ご挨拶

第43回 定時総会を迎えて

大久保会長

本日は、第43回定時総会にご多数お集まりいただき、誠にありがとうございます。大変お忙しい中、ご来賓として、文部科学大臣下村博文様の代理で前川喜平初等中等局長にご臨席賜り、誠にありがとうございます。また、いつもご指導をいただいている主任視学官の清原先生、全国小学校理科研究協議会副会長の安齋先生、全国中学校理科教育研究会会長の立澤先生、日本理化学協会事務局長の菊池先生にもご臨席を賜りました。本当にありがとうございます。

私どもの協会は、日頃より理科教育に携わる様々の職責の皆様で構成されております。その中でも、現場の小中学校、高等学校、そして大学で初等中等の理科教育指導をされておられる先生方とは、連携を深め、一緒に活動させていただいております。そして、皆様からのご指導、支援を得て今まで活動させていただき、理科教育振興協会は公益法人となり、本年で、丁度50年を迎えることができました。

昨年は、下村文部科学大臣のご就任早々、理科教育設備整備に関する大型の予算をつけていただき、平成25年度は、この100億円の補正予算と30億の通常予算を合わせて130億円があったわけですが、皆様の多大なるご努力があったにもかかわらず、半分ぐらいの執行で終わってしまいました。このような予算をつけていただいたことで、理科教育に対する強い追い風を感じ、その一方で、それぞれの自治体においては、まだ理科教育設備整備の充実を推進するような動きになっていないということの、両方を感じた次第でございます。



その活動の中で、いろいろな声をお聞きしました。私ども協会は、文字どおり公益社団法人として、皆様の理科教育に期待されている気持ちを大切に、学校現場での観察・実験を更に推進していきます。児童生徒たちが、安全に、日常生活の中での現象について体験し、その中で自分の考えを持ち、表明できるような人材育成につながるのが理科教育であると信じています。

今の学習指導要領では、そろそろ、この次のご検討もそろそろ始まるかと聞いておりますが、「将来の日本を背負って立つのは、今の子供たち、若者である。」と、私ども公益社団法人理科教育振興協会では、子供たちが科学を探究する道をしっかりと歩めるよう、皆様と一緒に進んでいきたいと常に考えております。

本日の総会、そのあとの講演会、情報交換会には、下村大臣をはじめ、多数の国会議員の先生方、また、文部科学省からも多くの皆様に来て頂けるということで連絡を頂戴しております。本日は半日強の長時間になりますが、皆様と一緒にこの一年間をどのように進めていくか、共に歩む中身を考えていきたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

第43回定時総会 議事録

1. 日 時 平成26年5月20日(火) 13時30分～15時10分
2. 場 所 東京ガーデンパレス (東京都文京区湯島1-7-5)
3. 出席者 正会員総数 1,133社 出席者数 765社(うち委任状718社)
4. 議事の経過及び結果

副会長 笠木俊一 氏から開会宣言があった後、司会の副会長 樋口裕司 氏から定款 第17条の規定のとおり会員総数の過半数の出席により本総会が有効に成立している旨の報告があり、続いて定款第15条 第1項の規定により、会長 大久保 昇 氏が議長となり、次の報告事項の後、二議案について逐次、審議した。

❖報告事項

平成25年度 事業報告、平成26年度 事業計画 及び事業予算について

大久保議長が自ら報告を行いました。

❖第一号議案

平成25年度 収支決算報告の件

議長の指名により常務理事 石崎裕行 氏が、配付資料に基づき、平成25年度事収支決算報告【①貸借対照表、②正味財産増減計算書、③内訳表、④財務諸表に対する注記、⑤財産目録、⑥附属明細書】について説明しました。

次いで、監事 片山 保 氏から定款 第38条の規定により監査の結果、正確妥当であった旨の報告がありました。

議長から以上についての意見・質疑を求めたところ全員異議なく拍手をもって、承認されました。

❖第二号議案

理事改選の件

議長の指名により常務理事 石崎裕行 氏が、理事辞任の永田学 氏 及び 高島勇二 氏 2名の申し出について説明した後、別途配布資料に基づき、後任理事候補の安齋正彦 氏 及び 立澤比呂志 氏 2名の発表をし、議長から意見・質疑を求めた後、候補者2名を紹介し、ひとりずつ拍手をもって、承認され、合わせて、候補者 安齋正彦 氏 及び 立澤比呂志 氏 2名ともに、自身の理事就任について承諾いただきました。

続いて、議長から、以上で総会の全議事が修了したことが宣言され、議事録記名者として次の2氏を指名、承認を求めたところ全員異議なく、これを承認されました。

中村 友香 氏
(株式会社 ナリカ 代表取締役社長)

鈴木 盛一郎 氏
(株式会社 鈴盛商会 代表取締役社長)

以上をもって15時10分に全議事を終了し、副会長 八神 基 氏が閉会を宣言し、全日程を終了しました。

平成26年度

事業計画

1 理科教育及び理科教育環境整備促進に関する刊行物等の発行

理科教育環境の向上と設備整備事業への取り組み促進にむけた刊行物（啓発パンフレット）を発行し、配布する

- 都道府県・市区町村（地方自治体）への理科教育設備整備事業実施にむけての啓発訪問及びDMでの情報発信 特に、理振法予算の申請の少ない地域に向けては訪問を行う
- 観察・実験の増加に伴う設備品購入予算の確保と、観察・実験の実施に伴う消耗品予算の確保を設置者に要望し、更にその継続に向けた啓発資料の発行と配布（少額設備品関連も含む）
- ホームページ及びメールサービスの活用による情報提供の充実
- 機関誌発行による情報提供の充実
- 教育用理科機器を製造する会員に対し、製造に関する有益な情報提示の推進



2 理科教育及び理科教育環境整備に関するセミナー等の開催

改訂学習指導要領で新たに増加となった「観察・実験」が実施できる資質を備えた教員の育成に寄与するためのセミナー開催、及び実践授業（教育支援）等を実施する

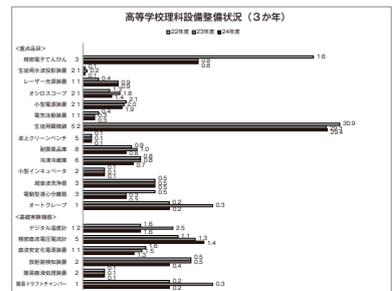
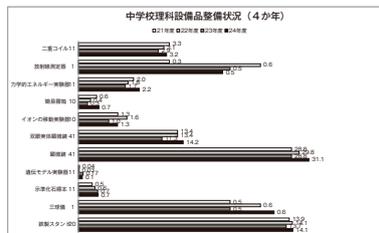
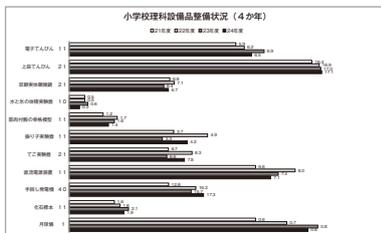
- 小学校教諭対象「理科観察実験 指導力向上セミナー」の開催
- 全国自治体・学校法人向けに「理科教育設備整備事業管理台帳研修」の開催
- 東日本地区に対する復興教育支援の継続
福島県、宮城県、岩手県における被災地区の小中学校での理科実験授業の実施
- 毒物及び劇物取扱責任者資格試験 受験準備講習会の開催



3 教育用理科機器及び理科教育環境整備に関する調査研究

理科教育環境の整備状況の目安となる「観察・実験機器」の学校保有状況調査、並びに学校理科教室の環境状況等を調査し、その結果を広く知らしめる広報活動を実施する。

- 学校現場の現状調査及び現場ニーズを教育団体の協力を得て独自に調査する
 1. 理科教育設備品の整備状況調査
 2. 理科実験室及び什器備品整備状況調査
- 教育用理科機器の研究・開発並びに安全・品質向上に関する研究を実施し、教員や児童・生徒を対象にした「安全、安心な観察・実験授業」の普及、実施に向けたドキュメント作成し、全国の小・中・高校へ配布する
- 総合理化学機器提供会員を中心とした安全性と品質向上のための研究と実施
- 教育内容の変化に対応した理科実験器具の研究への支援・協力の推進
- 諸外国における学校理科教育の調査・および資料の収集



4 関係団体等に対する協力・支援

学校における理科教育を研究し、全国的に推進している諸団体への支援および協力を推進する

- 理科教育を推進する諸団体への活動支援事業の実施
- 関係団体・諸団体との相互協力の推進



科学の甲子園



科学の甲子園ジュニア



全小理大会

来賓のご挨拶

文部科学大臣 下村 博文



代 読

文部科学省 初等中等教育局
局長

前川 喜平

公益社団法人日本理科教育振興協会第43回定時総会の開催に際し、一言御挨拶申し上げます。

御出席の皆様方には、日頃から理科教育の充実・発展に多大なる御尽力をいただいておりますことに感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

さて、第二次安倍内閣は教育再生を内閣の最重要課題として掲げて取り組んでおります。「人づくりは国づくり」です。日本の将来を担う子供たちは国の一番の宝であり、教育は国の根幹を形作る最重要政策です。

昨年12月に発表された「OECD生徒の学習到達度調査」の結果において、我が国の子供たちの成績は科学的リテラシー、読解力の分野で調査開始以来初めてOECD諸国中トップに、数学的リテラシーでOECD諸国中2位になるなど、過去最高の結果となりました。

このような結果からも、我が国の学校教育は世界に誇るべきものであると思えますが、この背景には、学習指導要領において重視する観察、実験や科学的な体験が大きく寄与しているところと考えており、各学校における理科教育設備の普及・啓発等に民間の立場から取り組んでこられた皆様の御尽力に改めて感謝申し上げます。

文部科学省では、今後とも学習指導要領に基づく実験・観察活動の一層の充実を図っていくことが重要であるという認識の下、今年度においても、人的・物的の両面から総合的な支援を実施することとしております。具体的には、理科教育設備整備の補助金として、平成26年度予算において約21億円を、また、小・中学校における理科の観察・実験を支援する補助員の配置に係る支援として約2億6,000万円を、さらに小・中学校教員の理科の指導力の向上を図るための協議会の開催の経費として約6,000万円を計上しています。

我が国が直面している様々な困難を克服し、新しい夢のある社会をつくっていくためには、高い志を持ち、自ら考え、また他者と協働しつつ、新しい価値の創造に挑戦する人材を育成していくことが求められます。とりわけ、理科教育の充実には、未知なるものへの好奇心や科学的思考力等を養い、国民一人一人の科学リテラシーを涵養するとともに科学技術の発展を担う人材を育成する上で極めて重要な役割を果たすものです。

皆様におかれましては、このような理科教育の重要性に鑑み、次代を担う子供たちの育成に引き続き御支援・御協力くださいますよう、改めてお願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と、本日御出席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

平成26年5月20日

文部科学大臣 下村 博文

代読 文部科学省 初等中等教育局 局長 前川 喜平 様

来賓のご挨拶

文部科学大臣 下村 博文



本日は、日本理科教育振興会の総会開催、おめでとうございます。

これだけ大勢の方々がお集まりいただいていることに対して、心から敬意を申し上げますと思います。昨年は、PISA2012の結果で、OECD諸国の国別では、わが国の科学リテラシー・読解力は世界でトップでした。数学は、残念ながら韓国に次いで2番めでありましたが、ゆとり教育からの脱却の中、ここにおられる皆様方が大変なご努力をしていただいた結果、今、理科における機材も十分でない、実験も十分にできないという中で、事実上、OECD諸国の中でトップになったということは、まさにここにおられる皆様方の教育力のおかげであると感謝申し上げます。

ASEAN諸国を訪問致しますと、我が国の科学技術分野における期待感を感じます。アメリカにおいては日米が協力して、宇宙開発の部分、原子力分野における部分等々、あるいは核融合等、まさに一国では十分にできない部分について、国際協力を得ながら力を合わせてやって行こうとしています、人類が次のステージに移ってきた中で、日本の強みは科学技術力です。これから科学技術における世界で最先端の分野をさらに育成していくためには、それを支える人材を作っていくということが、絶対条件として重要であると思います。これから科学技術分野における条件整備を積極的に整えながら、また、それに資する人材を育成するための財源も確保しなければならないということの中で、まずは小学生、中学生の段階から理科に対して興味・関心を持って、科学に対して目覚めていくような環境づくりとして、理科の役割というのは、大変大きいものがあるのではないかと思います。

これから日本が目指すべき方向は、まさに教育立国。そして科学技術立国です。

ここにおられる全ての皆様方が、やりがい、生きがいを持てるように、国がバックアップをしながら、そして、全ての人たちのチャンス、可能性を作っていくようなことを推進してまいりたいと思っておりますので、理科教育に関係する全ての皆様方のこれからの振興・発展を祈念いたします。

われわれも一所懸命にバックアップし、先頭に立って頑張ることもお誓いを申し上げまして、挨拶といたします。今日はおめでとうございます。

衆議院議員 塩谷 立



本日は総会、まことにおめでとうございます。私も自民党では科学技術イノベーション戦略調査会の会長に就任しており、これからの日本の在り方が大きなテーマで、国家の成長につながるその原点は、やはり理科教育です。

実験室でいろいろなものを作ったり、いろいろな体験をしたり、失敗をしたりということが一番大事です。いかに上手に黒板に書いて授業をしても、何も面白くありません。何かやって、作って、「一つできた」「だめだった」ということが子供たちの興味を湧かせ、これが何よりも子供たちが成長する大きなステップだと思っております。その土壌を作るのが理科観察実験機器ですから、その辺をしっかりと毎年予算で獲得するべく、努力をしてまいりたいと思います。

特に最近「リケジョ」が期待され、将来の「リケジョ」や科学技術の発展を担っていただくのは皆さん方だと思いますので、私どもも一緒になって頑張りたいと思います。今後のますますのご発展を心からお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

来賓のご挨拶

衆議院議員 鳩山 邦夫



本日は定時総会開催、おめでとうございます。

さて、教材備品は800億円×10年間という計画で文科省と総務省が協力をしており、これは交付税措置でございます。しかし、理振は「理科教育振興法」があって、そのうえで補助をするということになっております。いわゆる法律に根拠のある補助であり、はるかに充実をしていなければいけないのだらうと考えているところでございます。

私が文部大臣の頃は、とにかく「増やせ、増やせ」と言ったから、だいぶ増えて30億円台の時が結構ありました。それから減ってしまって、少し増えてまた減ってしまったということを繰り返しているという、まことに情けない状態にございます。やはり10年計画ぐらいで、例えば50億円で10年間は理振法上の補助予算は確定というように、そのようなことを考えて、これからも大久保会長とは相談をしながら、皆様とともに行動していきたいと思っております。

人づくりなくして国づくりなし。その人づくりの基本に理科教育・数学教育があることは、間違いがないと思っています。皆さんのお仕事は、人づくりという意味でまことに大きいものがございますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

理振協会の皆様方がますます発展をされますように。成長戦略と言うのであれば、理数教育が基本ではないだろうかと思えます。私は、そのことをこれからも安倍さんにも菅さんにも言っていこうと思えます。今日、本当におめでとうございます。

衆議院議員 笠 浩史



衆議院議員の笠浩史でございます。私は今、民主党のネクスト文科大臣ということで、教育分野の責任者を務めております。また政権担当時には、政務官、また副大臣として、皆様方にご指導いただきましたことに、心からの感謝を申し上げます。

先般、高木義明元文部科学大臣を会長として、民主党としても理科の振興のために力を尽くしていこうと、大久保会長にもおいでいただいて理数科学技術教育推進議員連盟を立ち上げました。教育については、党派は関係ありません。どちらが与党でも、野党であっても、人材育成をする上で最も重要なことは、やはり子供たちが、小学校、中学校、高等学校において、実験をする喜びや好奇心といったものをしっかりと育んでいくということが、大事なことだと思っております。

党派を超え、将来の人材育成のために、そして理科教育が将来の日本の成長戦略を支えていく担い手づくりなのだということをしっかりとした信念とし、これからも取り組んでまいりたいと思っております。

理振協会のますますのご発展と、今日ここにご参集の皆様方のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、一言お祝いの言葉とさせていただきます。

来賓のご挨拶

参議院議員 大島 九州男



皆さん、本日はおめでとうございます。理振の予算については、実は、国が予算を計上しても、都道府県や市町村において、予算計上がされていないことがあり、昨年度は大規模予算にも関わらず、五つの都道府県で理振事業がなかったことは大変残念です。

その後、継続して、私も理数科学技術教育推進議員連盟を通して、全国の都道府県や自治体に理科教育の重要性を説き、観察実験機器の充実促進を訴えてきました。今年は今までの活動の積み重ねで、予算未計上の都道府県は数か所だけとなりました。

本年は特に、理振事業に対して不振である都道府県に対して直接、事業の必要性を説く活動をいたします。皆様のご協力を切にお願いいたします。

本日これから文科委員会の参議院の理事懇談会に行ってきます。自民党の先生や野党の先生と懇談しながら、また自民党の下村先生にご指導いただきながら、理科教育に携わる先生方、企業の皆さんの声をしっかりと反映する仕事をさせていただくことをお誓い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

参議院議員 山谷 えり子



皆様、日頃から理科教育の振興にお力をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は、第一次安倍内閣の時、教育再生担当の総理補佐官をやっておりました。ゆとりを持っての教育はいいのですが、緩み教育になっているのではないかと問題意識から、理数科目の授業時数を大幅に増加させました。下村文部科学大臣の下、PISA学力テストで、理科のリテラシーが先進国で1番、数学も2番。もう一度科学技術大国への道を歩む基礎が、しっかりとできているのではないかと考えております。

私は、現在、内閣委員会の委員として、総合科学技術、イノベーション関係をテーマとして議論をしております。アベノミクスの3本の矢の成長戦略、この3本目の矢は、科学技術が中心になって底力を発揮していくのだらうと思います。せっかく伸び始めた芽でございます。太く、大きく、そして、世界の発展にもつながるように、日本国

から発信していきたいと思っております。これからも、皆様からお力をいただきながら、私たち政治の世界でしっかり受け止め、さらに大きく、大きくしていきたいと思っております。

衆議院議員 田野瀬 太道



本日、理振協会の総会、情報交換会が、昨年にも増して多くの皆様のご参加のもと、盛大に開催されておられますこと、心からお喜びを申し上げますとともに、本年もまたお招きいただきまして、感謝、御礼申し上げます。

資源もない、人口もどんどん減っていくというわが国において、教育は本当に経済の成長のあらゆる面を支える根っこだと思っております。なかんずく、数学や理科の頭を持った子供がどんどん育つことで科学技術創造立国に向けての国づくりをしていかなければいけないという、これはもう論を待たないわけでございます。

私は、1回生議員ですけれども、しっかりと諸先輩方、議員先生方とともに、この国を一步でも二歩でも進めてまいりたいと思っております。

われわれにできること、皆様のお役に立てることがあるならば、大久保会長また役員の皆様とともに、国政の場において頑張っていきたいとお誓い申し上げたいと思っております。

講演

「宇宙、人、夢をつなぐ」



宇宙飛行士
山崎 直子

講演概要

山崎先生の生い立ちから始まり、宇宙について関心を持ち宇宙飛行士を目指し、自らの夢を実現させたことなどについて、また、人類の宇宙での活動の無限なる可能性について、熱く語っていただきました。

会場は満員で、後方は立ち見の状態でした。

講師プロフィール

千葉県松戸市生まれ。1999年国際宇宙ステーション(ISS)の宇宙飛行士候補者に選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。

2010年4月、スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年8月JAXA退職。現在は、内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー、松戸市民会館名誉館長、千葉市科学アドバイザー、などを務める。

著書：「何とかなるさ」(サンマーク出版)

「瑠璃色の星」(世界文化社)

「夢をつなぐ」(角川書店)

(第57回青少年読書感想文全国コンクール課題図書・中学校の部)

「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)



情報交換会のひとこま



第43回定時総会 **永年勤続優秀社員表彰**



平成26年度第43回永年勤続優秀社員表彰者は、右表のとおり8社16名となりました。16名を代表して株式会社内田洋行 吉井 潔 様が壇上に上がり、大久保会長より「日本の理科教育振興のため、社業発展のため、今後より一層のご活躍を衷心より期待申し上げます」とのねぎらいの言葉がありました。

氏名	所属企業
小野 さと美	株式会社 ナリカ
和田 真裕美	株式会社 ナリカ
小島 大	株式会社 ナリカ
今岡 謙二	株式会社 内田洋行
吉井 潔	株式会社 内田洋行
菅原 修	株式会社 八戸科学
篠田 智弘	ケニス 株式会社
伊藤 美央子	ケニス 株式会社
柴田 康博	株式会社 ヤガミ
加藤 隆弘	株式会社 ヤガミ
永田 慶輔	株式会社 ヤガミ
宇田川 智之	株式会社 雄飛堂
松井 慎太郎	株式会社 京都科学
佐々木 雅善	株式会社 島津理化
千葉 文晴	株式会社 島津理化
大熊 千絵	株式会社 島津理化

祝

全国理科学研究大会

日本理科教育学会 第64回全国大会（愛媛大会）

8月23日(土)～8月24日(日)

愛媛大学城北キャンパス

平成26年度全国理科教育大会 第85回日本理化学協会総会 東京大会

8月6日(水)～8日(金)

立教池袋中学校・高等学校

新しい時代の理科教育を考える～希望・連携・創造～

第61回全国中学校理科教育研究会(島根大会)

8月7日(木)～8日(金)

島根県立産業交流会館(くにびきメッセ) / 松江東急イン

自然との関わりを通して、科学的な思考力・判断力・表現力を育む理科教育

第47回全国小学校理科学研究大会(北海道大会)

10月16日(木)～17日(金)

札幌市民ホール ほか

知識基盤社会の時代を切り拓く人間を育てる理科教育

日本理科教育学会 第64回全国大会(愛媛大学)によせて

日本理科教育学会 会長
森本 信也



理科教育をはじめとするすべての教科教育において、思考力・判断力・表現力の育成を中軸にした授業を実現させることが益々求められています。平成24年度に実施された文部科学省による理科に係わる全国学力・学習状況調査の結果は、この課題への取り組みが必須であることを明確に示しました。

本大会ではこのような視点に立つ、新しい理科授業に関する提案が多数行われ、新しい学びを創出することに寄与していくものと思われます。具体的には、諸外国の教育課程、指導方法や評価の開発、教材の基礎研究、子どもの思考分析等々、理科授業を多面的に捉えるための情報が多数寄せられます。

上述の課題解決を目指し、新しい歩みを踏み出すために、本大会の充実は極めて重要であります。会員一同、課題についての認識を新たにし、解決を試み、さらなる本会並びに理科教育研究の発展を目指したいと思います。最後に、公益社団法人日本理科教育振興協会による本大会への支援の数々は、本会の置かれたこうした状況において極めて有用であります。会員を代表して感謝申し上げます。

「平成26年度全国理科教育大会」 「第85回日本理化学協会総会」東京大会の成功を願って

日本理化学協会 会長
坂井 秀敏



完成した新学習指導要領では、必修要件が総合科目ではなく、三科目の基礎科目で可能になった。そのため、それぞれの専門の教員の指導が可能で、観察・実験が一層しやすくなった。さらに理科の実験器具、設備予算としての国の予算も減額されたとはいえ、20.8億円(通常10億円)計上され、相変わらず高い水準にある。

今、私達は、このような追い風を生かして理科教育をより充実したものにしていかなければならない。特に、目的意識をもって観察・実験を行う「理科好き」の生徒を増やし、科学的な見方考え方を身につけ、事物を冷静に客観的に判断できる生徒を育成すること。それと同時に、ベテラン教員の退職に伴い、大量の意欲はあるが経験不足の若い教員を育成することが急務です。

その意味で、「新しい時代の理科教育を考える」～希望・連携・創造～をテーマに開催される「平成26年度全国理科教育大会」「第85回日本理化学協会総会」東京大会の成功に全力を注いでいきます。

最後に、日頃より大変お世話になっている大久保会長をはじめ公益社団法人日本理科教育振興協会の皆様のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

「自然との関わりを通して、科学的な思考力・判断力・表現力を育む理科教育」 第61回全国中学校理科教育研究会 島根大会の開催

全国中学校理科教育研究会 会長

立澤 比呂志



全国中学校理科教育研究会（全中理）は昨年度から研究主題「科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育」を設定しました。そして、子どもたちが自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的な目で見ると体験や探究の過程を通して、課題を解決していくための科学的な資質や能力を一人一人に育てていけるよう、理科教育にかかわる教職員及び関係団体が一体となって理科教育の充実・発展を図っています。

このような中、貴協会が進めている様々な活動は理科教育の充実・発展には欠かすことのできない重要な取り組みです。全中理としても、貴協会の絶大なるご支援とご協力のもと、理科教育の充実・発展のために全力を尽くしてまいります。

全中理は、第61回全国中学校理科教育研究会島根大会を、8月7日(木)・8日(金)の2日間、松江市の島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」・松江東急インを会場として開催いたします。この大会の分科会では全国から25の実践研究が発表されます。全国の理科教育関係者が参会し、豊かな未来を創造する理科教育について語り合い、情報を交換することは、日本の理科教育の発展に大いに役立つことと考えます。この大会を貴協会との強い連携のもとで開催したいと思います。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

～「挑戦欲、工夫の喜び、解明への期待」を追究の原動力として～ 第47回 全国小学校理科研究大会 北海道大会の開催

全国小学校理科研究協議会 会長

安齋 正彦



全国小学校理科研究協議会は、先般、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 村山哲哉先生を講師にお招きして、平成26年度 第1回理事会を、内田洋行新川オフィスを会場に開催いたしました。当日は、公益社団法人日本理科教育振興協会会長 大久保昇様、東京大学特任教授 日置光久様に御来賓として御出席をいただきました。誠にありがとうございました。

さて、今年度は、10月16日(木)・17日(金)の両日、第47回全国小学校理科研究大会を北海道で開催します。北海道では、第33回大会以来の開催となります。大会1日目は、札幌市民ホールにおいて、総会・研究全体会・記念講演を行います。記念講演では、宇宙航空研究開発機構宇宙開発戦略本部事務局長 川口淳一郎氏をお迎えし、『理科教育への期待～「はやぶさ」から伝えたい、夢を創る力～』を演題に御講演いただきます。大会2日目は、札幌市立円山小学校、札幌市立二条小学校、札幌市立中央小学校を会場に公開授業を行います。

大会実行委員長の太田俊一先生を中心にこれまで準備を進めてこられたすべての方々に感謝すると共に、大会の成功に向けて全力を注ぎます。

終わりに、公益社団法人日本理科教育振興協会 大久保昇会長をはじめ、協会の皆様、そして、御支援をいただいております関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。

平成26年度 理振予算動向

理科教育設備整備費等補助金 20.8億円について、交付決定が6月16日付で全国都道府県に通達されました。

追加募集案内が通達されました。

6月11日付で、全国都道府県に追加募集案内が通達されています。

・スケジュール

7月24日 事業計画書提出締切 8月上旬 内定予定

・内定を受けて 下記の2パターンの日程で事業は進みます。

1回目 8月25日 交付申請締切 9月16日 交付決定
2回目 9月24日 交付申請締切 10月16日 交付決定

理振協会事務局としては 追加募集案内パンフを急遽発行し、全国都道府県教育委員会及び全国すべての学校法人に対してDMしました。



いつでも見られるMSDS誕生！

MSDSをご覧になりたい方は、こちらのホームページへ今すぐアクセス
<http://www.st.rim.or.jp/~shw>

有機薬品、無機薬品、各種金属、滴定試薬、指示薬、pH用指示薬、各種確認試薬等



昭和化学株式会社

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-8
TEL (03) 3270-2701 FAX (03) 3270-2720

安全安心な理科観察実験のために

1 安全安心ドキュメントが揃いました

児童・生徒に楽しく安全な理科実験ができるようにドキュメントを作成しております。
 本年度で下記12種完成しておりますので、先生にご紹介ください。

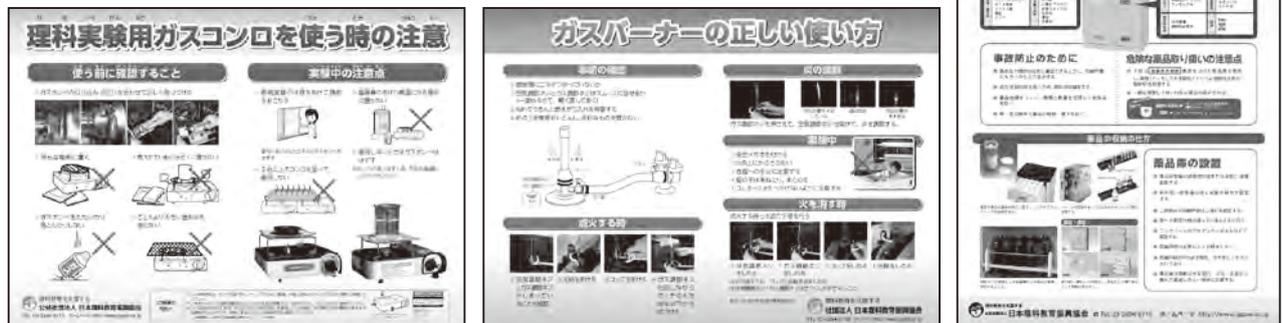
- 鉄製スタンドの正しい使い方
- 百葉箱の正しい使い方
- 静電高圧発生装置の正しい使い方
- 誘導コイルの正しい使い方
- 電源装置の正しい使い方
- 金属球膨張試験器の正しい使い方
- アルコールランプの正しい使い方
- 水をあたためる実験の注意
- 直流電流計の正しい使い方
- 電源装置の正しい使い方(小学校向け)
- 顕微鏡の正しい使い方
- 直流電圧計の正しい使い方



今後もボリュームを増やしていきます。

2 ポスターもご利用ください

- 理科実験用ガスコンロを使う時の注意
- ガスバーナーの正しい使い方
- 薬品の保管方法



理振協会のホームページに PDF ファイルとして掲示しております。
 下記 URL からダウンロードできます。

<http://www.jpse.or.jp/publication>

第3回 科学の甲子園 大会報告

日 時：平成26年3月21日（金）～23日（日）

場 所：兵庫県立総合体育館

主 催：独立行政法人科学技術振興機構

今回が3回目の全国大会で、参加者は総勢1000名と過去最も多く、大盛況のうちに終了しました。

当協会としては、筆記競技第2位に【日本理科教育振興協会賞】を提供させていただき、大久保会長が授与いたしました。また23日には、引率の先生・教育委員会の方々との産学交流会があり、大久保会長・石崎常務理事が参加し、理振協会の安全安心への取り組みを発表いたしました。

結果 総合成績第1位 伊勢高校 第2位 岐阜高校 第3位 膳所高校



会場の様子 競技開始前



筆記競技第2位 灘高校へ授与

理科教育振興法制定60周年記念会 報告

日 時：平成26年1月12日（日）10時～

会 場：東京都立戸山高等学校

主 催：理科教育振興法制定60周年記念実行委員会

＜日本理化学協会・全国小学校理科研究協議会・全国中学校理科教育研究会・日本生物教育会・日本地学教育学会・日本数学教育学会＞

今回10年ぶりの記念会開催で、理科教育の関係諸団体から総勢200名以上が参列し、大変盛り上がりました。（会長：有馬朗人先生、実行委員長：高島勇二先生）

式典では、大木道則氏（東大名誉教授）と当協会が表彰され、表彰状が授与されました。その後、記念会宣言の発表、秋山仁氏の講演「想定外の事態に対応する能力を培うためには」があり、午後は、祝賀会と児童生徒らによる「理科と算数・就学のアゴラ」と続き、大盛況の内に終了しました。



当協会の表彰



講演：秋山仁先生

平成26年度 理科観察実験 指導力向上セミナーを実施します

本年も昨年に続き、小学校教師向けのセミナーを実施いたします。テーマは「子供たちに安全で楽しい理科実験を！授業力がアップします」として、全国から応募を募ります。

【東京】

講習内容	授業で使える基礎知識と技能を身につけ、児童が理科を好きになる「楽しい観察・実験」と「安全な授業」を行うための実技中心のセミナー
開催日	2014年8月19日(火)
会場	帝京平成大学 中野キャンパス
講師	帝京大学 教授 星野 昌治 帝京平成大学 教授 船尾 聖 帝京大学 客員教授 太田由紀夫 帝京平成大学 准教授 永田 学 帝京平成大学 准教授 大貫 麻美



【東海】

講習内容	愛知教育大学で理科の各分野を専門として研究する、経験豊富な講師から指導いただく、毎年人気のセミナー エネルギー (物理) 分野：電気電流の働き・利用の単元完全マスター 粒 子 (化学) 分野：化学薬品と実験器具の取り扱いの基礎 生 命 (生物) 分野：顕微鏡の使い方完全マスター 地 球 (天文) 分野：月と太陽の単元完全マスター
開催日	2014年8月21日(木)
会場	国立大学法人 愛知教育大学 自然科学棟
講師	愛知大学教授 岩山 勉 愛知大学教授 稲毛 正彦 愛知大学教授 澤 武文 愛知大学教授 澤 正実

【東京】

講習内容	星座早見盤と天体望遠鏡を自作してしっかり指導力をつけましょう。 星座〔天体〕の授業は最初が大切！ ・星座に関する指導方法について 星座早見盤制作から始まり、使い方、四季の星座の指導 ・天体望遠鏡の自作による操作の理解
開催日	2014年8月26日(火)
会場	国立天文台
講師	国立天文台 研究員 白田久美子博士

参加者募集中です。興味のある方は、下記ホームページから詳細をご覧ください。

<http://www.japse.or.jp/event/3527>

次年度予算に向けての今後の活動

- ・平成26年度小・中・高 理科観察実験機器充足調査結果分析完成・・・7月下旬
- ・平成26年度理科教育設備整備予算計上に向けての啓発パンフレット作成
※8月上旬発行予定・・・市町村小中向け 及び都道府県高等学校向け 2種
- ・全国都道府縣市町村教育委員会、学校法人に予算啓発パンフレット送付

顕微鏡観察の新しい“カタチ”



D-EL3

D-EL4

グループ観察・机間指導に最適

5インチの大型のモニタを搭載していますので、グループ観察に最適です。また、今まで顕微鏡観察の授業で難しかった机間指導が可能になります。



大型TVにも簡単投影

5mのHDMIケーブルが付属。教卓から離れた大型TVへも簡単に投影可能。演示用の顕微鏡としても最適です。



出力端子	映像素子	総合倍率	接眼レンズ	対物レンズ	照明装置
HDMI USB SDカード	約500万画素	40~400倍 (D-EL3)	WF10× (D-EL3)	4×・10×・S40×	連続調光式 白色LED
		40~600倍 (D-EL4)	WF10×・WF15× (D-EL4)		

D-EL3 ● 可動ステージ ● 円盤絞り
D-EL4 ● 粗微動同軸装置 ● メカニカルステージ ● 虹彩絞り
● 日本語ソフト ● HDMIケーブル(5m) ● USBケーブル ● ダストカバー

ウチダ 生物顕微鏡

型番	型式	微動装置	メカニカルステージ	本体価格	税込価格
8-170-0366	D-EL3	—	可動ステージ	¥88,000	¥95,040
8-170-0367	D-EL4	粗微動同軸	メカニカルステージ	¥127,000	¥137,160



授業ですぐ使える
圧倒的な商品数が揃っています!

内田洋行 公共本部 <http://school.uchida.co.jp/>

東京	東日本営業部 〒135-0016 東京都江東区東陽 2-3-25 ☎ 03(5634)6280	大阪	西日本営業部 〒540-8520 大阪市中央区和泉町 2-2-2 ☎ 06(6920)2480
札幌	北海道営業部 〒060-0031 札幌市中央区北 1 条東 4-1-1 ☎ 011(214)8630	福岡	九州営業部 〒810-0041 福岡市中央区大名 2-9-27 ☎ 092(735)6240